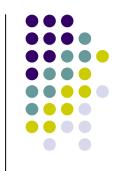
資料4

第2回訓練(実動訓練) (案) について

平成18年10月30日(月) 食品安全委員会事務局



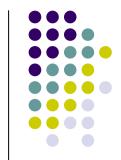


1. 平成18年度緊急時対応訓練について



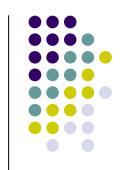


- 食品安全委員及び事務局員が緊急事態及び緊急時対応の共通認識を持つ。
- 対応力や判断能力を向上させる。
- 緊急時対応マニュアルの適確性を確認する。
- 緊急時対応手順を確認する。
- 定められた対応を迅速かつ確実に実施する。



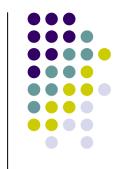
訓練形式

訓練形式	特徴	
研修会	座学を中心として、基礎的知識及び専門知識の習得を図る。さらに組織が抱える 未解決の課題等についても議論を深めておく。	
机上 シミュレーション	実際に体を動かすものではな〈、イメージ力の向上や、判断能力の向上を目的と する場合に適した訓練。また、空間的あるいは時間的な制約がないため、例えば 災害の長期化に関する課題の抽出等、実際の訓練では実施が困難な事項の検 討にも適している。	
シナリオ提示型 訓練	大提示型 対応手順や連携の確認に主眼をおくため、事前に訓練シナリオを提示する訓練。 実践的な対応力の向上には向かない。	
シナリオ非提示 型訓練		
抜き打ち訓練	訓練開始のタイミングでさえも事前に参加者に伝えない訓練。シナリオ非提示型 訓練よりもより現実に近い状況設定となるが、訓練による混乱防止の観点から、 対象範囲は限定される。	



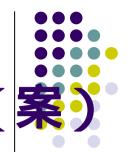
今年度の訓練について

回	テーマ(目的)例	種類	内容例
第1回	緊急事態に ついての 展開イメージの 共有	机上 シミュレーション	関係者が一堂に会し、緊急事態を設定の上、時系列に沿って、想定される事態の進展、初動体制の段取り等、マニュアルの分掌に則り話し合う。
第2回	緊急時マニュアル の実効性検証	実動訓練 (シナリオ非提示型)	訓練対象者に緊急事態に関する情報を適宜付与。訓練対象者は、マニュアルに従いつつ、臨機応変に判断・行動する。
第3回	緊急時広報に 関する対応能力 の向上	個別要素訓練	訓練対象者が、 専門家レクチャー 受講、 広報文案の作成、 記者会 見の模擬実施等を行う。



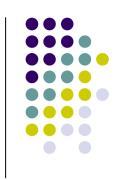
2.第2回訓練(実動訓練)(案)について





- 利用可能、設置可能な会議の種類と対応 範囲の確認(緊急対策本部を含む)
- 緊急時対応における事務局の体制の確認
- 情報提供体制と手順の確認
 - 国民へ
 - マスコミヘ
 - 専門委員等へ

第2回訓練の目標



関係府省連絡会議(局長級会議)が開催され、 緊急協議を開催することを決定した状況を設定し、 そのような状況における

外部からの問い合わせに対する対応力や判断能力の向上を図る。

緊急時対応手順を確認する。

緊急時対応マニュアルの適確性を確認する。

緊急時対応と第2回訓練範囲(案)

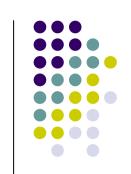




事態の深刻さ

大

実動訓練(シナリオ非提示型)の 実施イメージ

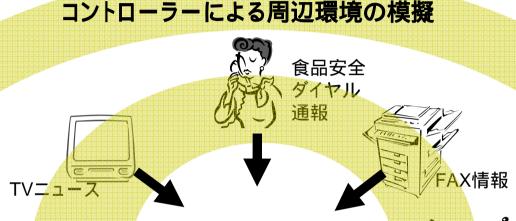


 \sim ----

地方自治体



企業·関係団体





国民





電話情報

メール情報



関係省





コントローラーによる

関係研究機関等



マスメディア